

校長のつぶやき

校長室便り 第48号

令和2年1月20日 山内

○センター試験 ー最後のセンター試験 来年から新テストー

昨日令和2年(2020年)1月19日(日)までの二日間、大学入学者選抜大学入試センター試験が行われました。この制度が始まったのは平成2年ですから丁度30年続いたわけです。私たちの頃は大学共通第一次学力試験という名称で、昭和54年から始まったばかりでしたので、共通一次と略して言われるより、「新テスト」と呼ばれたものです。現行のテストも今でこそ「センター試験」と呼ばれていますが、私が教師になりたての頃はやはり「新テスト」と呼ばれていました。今回最後のセンター試験に替わり、来年度から行われる試験は、大学入試共通テストと言われ、記述式問題等が見送られたものの、予定通りに実施されます。数学等において前倒しで来年度からの傾向が出題されましたが、確実に言えることは、いつの時代も「新テスト」と呼ばれ、「新テストは評判が芳しくない」ものの、共通一次で10年、センター試験で30年と長生きしたことです。新しいことへの対応は、「なぜ」といつまでも引きずることより「どうやって」と前向きに捉えることです。新聞に掲載されています。1,2年生の皆さん、解ける問題がけっこうあります。自分で限界を作らず、挑戦してみてください。

○高校入試もかわります。 ー近日中に出願希望調査公表ー

宮城県の公立高校入試も今年からかわります。前期・後期試験制度がなくなり、3月上旬に一回だけの試験となります。(追試験や二次募集はあります。)本出願に先立って、出願希望調査(旧予備調査)が近日中に全県一斉に公表されます。こちらにも新テスト、評判や期間も歴史は繰り返すのでしょうか。いずれにしても、岩高を志望してくれた中学生の皆さんを大事にしたいと思います。

○地域の方々の声 ーおほめの声におしかりの声ー

地域の方々から時々お電話をいただきます。今回は、駅から学校まで「右側・左側両方を使って徒歩」で通学する岩高生に対してのおしかりの電話でした。「重い荷物を持って手伝ってくれた」「毎朝、ゴミ拾いをしてくれている」「笑顔で元気に挨拶してくれる」おほめの声はもちろんありがたいのですが、今回のような岩高生を思っただけの声にも耳を傾けなければなりません。むしろありがたいくらいです。「地域と共に」これが岩出山高校のローガンです。地域の方々の声に耳を傾け、地域から愛され、信頼される学校になりましょう。

○暖冬 ー大寒なのにー

今日、20日(月)は二十四節気のひとつ「大寒」ですが、本当に暖かい。たださすがに、今朝は昨夜の雨が凍っていて登校坂は凍結して「ブラックバーン」でした。登下校時は凍結しています。くれぐれも注意してください。とはいえ2月4日の立春はすぐそこです。